

40. 感染創に対する高気圧酸素療法併用の臨床経験

有川和宏*¹⁾ 久保博明*¹⁾ 平川 亘*²⁾
平 明*³⁾

〔*¹⁾鹿児島大学附属病院救急部
*²⁾ 同 医学部脳神経外科
*³⁾ 同 第2外科〕

嫌気性菌感染によるガス壊疽などでは、高気圧酸素（以下 HBO）療法は絶対適応として認められている。しかし非嫌気性感染にも本法が極めて有効で、静菌的に作用する事実を経験した。全身的な重症感染像を呈したガス壊疽11例、MRSA 感染創11例、その他の感染創11例の計33例に対し本法を用いた。33例中起炎菌の同定は31例で可能であったが、嫌気性菌はガス壊疽11例中の2例、股関節炎の1例に留まっており、他は非嫌気性菌であった。嫌気性菌群への HBO 療法の効果はより著明で治療回数も少なかった。ガス壊疽の2例をエンドトキシンショックと遠隔期脳橋部梗塞で失ったが、残る31例で感染像の消退が得られた。31例中発熱、CRP 上昇等を伴った全身的感染像を呈した15例は HBO 療法併用で速やかな改善が得られた。この中には4例の MRSA 感染例が含まれたが、本法併用で全例菌消失をみた。局所感染創18例中 MRSA 感染は7例あり、いずれも本法併用で菌の消失がみられた。うち8年以上の病歴を有する MRSA 骨髄炎例が37回の本法で完治した著効例も含まれた。経験例の成績から HBO 療法は感染制御に有効な補助手段と考えられ、そのメカニズムについて考察を加えたい。他方で感染の制御は得られながら、創部の治癒がみられぬ2例（馬尾症候群を伴った臀部褥瘡および糖尿病性趾潰瘍）もあり、創治癒に関して HBO 療法が絶対的療法となりえない場合もあることを痛感した。

41. 高圧酸素療法が奏効したと考えられる糖尿病性ガス壊疽の2例

菊地康久 則武昌之 桂 善也
渡部俊哉 松岡 健

（東京医科大学内科学第5講座）

我々は今回、Clostridium性および非Clostridium性の糖尿病性ガス壊疽に高圧酸素療法（HBO）を施行し、良好な結果を得たので報告する。

【症例1】糖尿病および左足部壊疽にて他院で経口糖尿病剤・抗生物質・血流改善剤により加療されていたが、改善しないため同年2月当科に紹介入院。病巣部は黒色壊死を呈しており、X-Pにて足底から足甲部の皮下にガス像を認めた。debridement時の培養から Proteus と Bacteroides が検出された。連日2回の HBO を抗生物質・血流改善剤および強化インスリン療法と併用したところ、著明な改善を示し下肢の切断に至らずに治癒した。

【症例2】58歳男性。平成7年1月より間欠性跛行を呈するようになり、同年5月近医を受診。その際に糖尿病・高血圧・下腿部以下の変色を指摘された。インスリン・抗生物質・血流改善剤にて加療されるも軽快しないため、同年7月当科に紹介入院。下腿部以下は黒色壊死を示し、X-Pにて膝部以下に広範なガス像を認めた。debridement時の培養から Clostridium が検出された。本症例に対しても連日3回の HBO と強力な抗生物質・血流改善剤および強化インスリン療法を実施し、全身状態の安定を待って右大腿部の離断術を行った。

【考察】糖尿病性壊疽は糖尿病性神経障害によるものと閉塞性動脈硬化症によるものに大別されるが、症例1は前者、症例2は後者と思われた。偏性嫌気性感染症は HBO の適応として知られているが、今回は非 Clostridium 性感染症にも壊疽周辺組織の低酸素状態の改善を目的として、血流改善剤と HBO を併用した。さらに糖尿病では易感染症を呈するが、HBOにより好中球機能の改善や細菌増殖の抑制が報告されており、抗生物質・強化インスリン療法との併用により感染に対しての相乗効果が期待される。